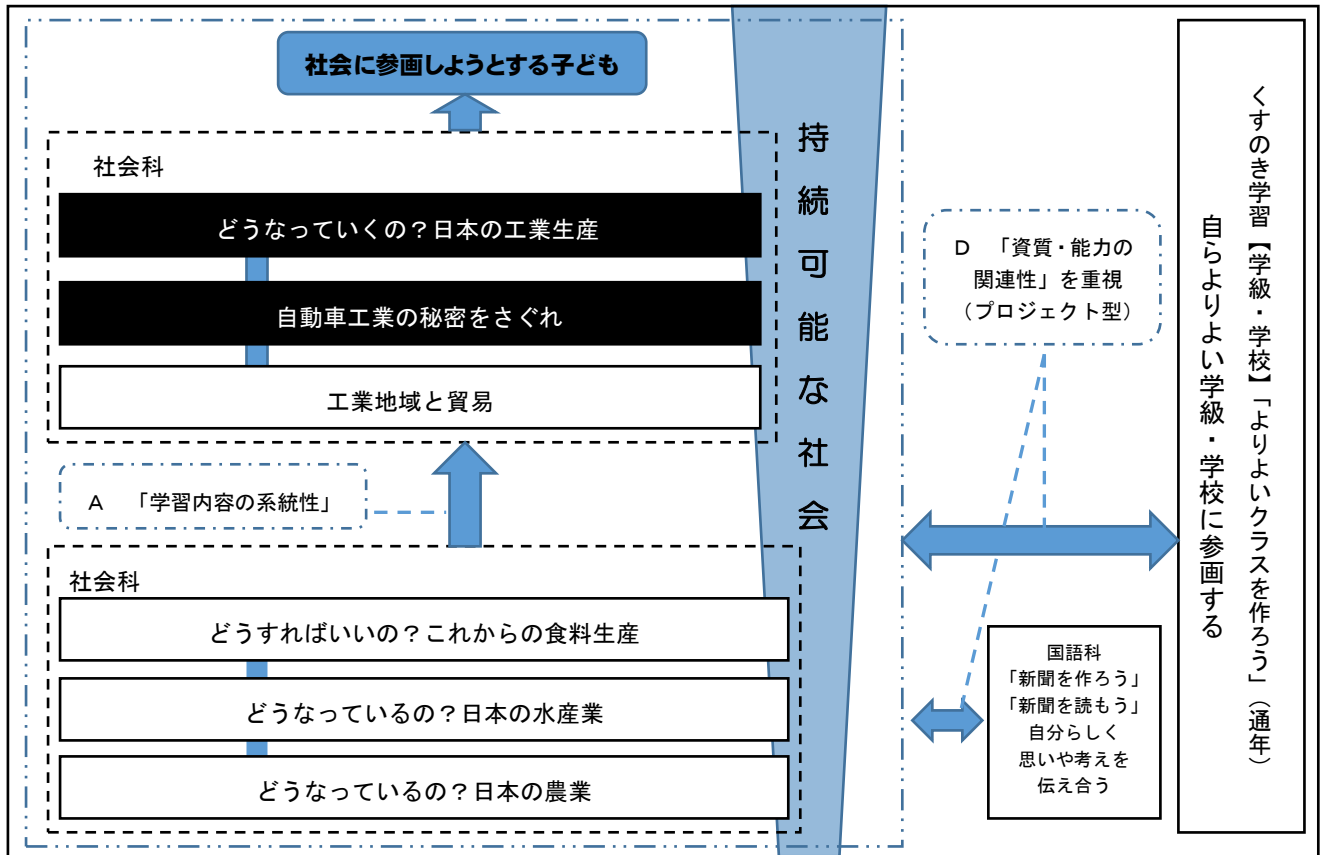


1 単元全体構想図について



2 単元構想について

小学校社会科学習指導要領解説では、第5学年社会科で育成する思考力、判断力、表現力等に関する資質・能力として、「社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会へのかかわり方を選択・判断する力」を挙げている。これからの農業や工業などの発展について考え、国土の環境保全に関して課題を見だし、その解決のために自分たちにできることを選択・判断することであると明記されている。「自分たちにできること」を選択・判断するということは、子どもたち自身を解決すべき社会的課題の中に置き、他人ごとではなく、自分ごととして、考えさせることであると捉えている。生産活動の様子を学習するだけでなく、学習を通して「持続可能な社会」の在り方を探ることが、本研究主題である「社会に参画しようとする子ども」の育成につながると考え、本単元を構想した。そこで、A「学習内容の系統性」を重視し、子どもが「持続可能な社会」を生き、「社会に参画しようとする」ための選択・判断する出発点として、本単元を位置付けた。

子どもは「持続可能な社会」を生きるために、どのように選択・判断していけばよいのだろうか。くすのき学習【学級・学校】では、子どもは、クラスをよりよくするために、自分たちの思いや願いを実現していこうとする過程で、葛藤や悩みを持ち、それが学級づくりへ参画する新たな問題意識の醸成につながってきた。くすのき学習【学級・学校】で育もうとしている「自らよりよい学級・学校に参画する」という資質・能力は、まさに、社会科での選択・判断と重なる部分であると考え、年間を通して関連させるなど、D「資質・能力の関連性」も重視した。

本学級の子どもは、前単元の学習で、食料生産の学習を行った。例えば、米づくりには様々な問題がある。後継者問題や働く人の減少、生産量や消費量の減少、さらに、現在の米づくり自体が続けることができるかという問題。それらの問題を、愛媛大学環境保全型プロジェクト「安心米」を手掛かりに考え、今後の持続可能な日本の農業への道筋を課題として捉え、自らのかかわり方を選択・判断してきた。本単元では、自動車工業を学習することを通して、工業生産に携わる人々の工夫や努力を考え、工業生産を支えていることを理解することをねらいとしている。自動車は工業生産額や貿易輸出額が国内第1位であり、生産量や技術の高さからも日本の基幹産業の一つであると言える。その自動車工業でも、社

会や消費者のニーズ、自動車所有の考え方、海外生産の増大に伴う自動車生産の構造等、取り巻く環境は大きく変化し続けている。そのような中、特に注目するのが電気自動車（EV）である。EVは、環境面へのメリットはもちろん、今後の日本の自動車産業にとって、持続可能なツールの一つとして、注目されている。例えば、バッテリー一つとっても、その技術の高さだけでなく、信頼性や耐久性など日本の工業の粋が詰まっているものであるといえよう。EVを切り口に自動車工業を見ることで、様々な問題が浮き彫りになってくる。子どもがそれらの問題解決のために、今後の自動車工業の道筋を選択・判断することで、持続可能な日本の工業生産を考えるきっかけになると考える。

3 単元のねらい

- 工業生産に従事している人々が、消費者や社会の多様なニーズに応え、環境に配慮しながら、優れた製品を生産するために様々な工夫や努力をしていることや、貿易や運輸の働きが我が国の工業生産を支えていることを理解する。
- 工業生産に従事している人々が、消費者や社会のニーズに合った新しい技術の開発、資源の有効な利用や確保、環境への配慮などの工夫や努力をしていること、我が国の工業生産の発展にはこれらの工夫や努力が欠かせないことについて考えたり判断したりして、適切に表現する。
- 自動車をつくる工業の製造の過程や製品の販売、輸送に見られる工夫などについて意欲的に調べるとともに、これからの我が国の工業生産の発展について考えようとする。

4 単元の展開（全11時間）

場面	子どもの課題意識と主な学習活動	評価の規準	時間
問題解決ステージ1	出合い 自動車はどのようにして、はやくたくさんつくられ、売られているのだろう。 ○ 自動車に実際に触ったり、資料を見たりしながら、疑問に思ったことを話し合う。学習問題づくり、予想を立てる。	● 自動車産業への問題意識を高め、学習問題をつくり、予想することができている。	2
	追究 自動車づくりに携わる人々は、よりよい自動車をたくさんつくるために、どのようなことをしているのだろう。 ○ 予想を基に、何を調べるかをはっきりさせ、学習計画を立てる。 ○ 追究した内容を個や小集団で話し合う。 ○ 学習問題についての自分の考えをまとめる。	● 予想を話し合うことで、自分が調べることを明確にし、追究活動を行うことができている。 ● 自分の課題について、資料や友達の報告から、まとめることができている。	7
	振り返り これからはどのような自動車がつくられていくのだろう。 ○ 自動車づくりに携わる人々が、社会や消費者のニーズに合わせた車づくりをするために、様々な工夫や努力をしていることを考える。	● 社会や消費者の観点から、自動車づくりに携わる人々が様々な工夫や努力をしていることを考えている。	1 本時 その1
問題解決ステージ2	日本の自動車工業をもっと盛んにしていくためにどうすればよいのだろうか。 ○ 自動車工業が抱える課題の解決策について考え、これからの工業生産について考える。	● これからの自動車工業を考えることを通して、日本の工業生産の工夫や努力を理解することができている。	1

5 単元における指導と評価の工夫

場面	三つの場面ごとの指導と評価の工夫
出合い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自動車生産のグラフや実物の車を見ることによって、自動車づくりの規模やスピードなどを考えるとともに、実は車については知らないことが多い事実に出合わせることで、学習に対する興味・関心を高め、学習問題を設定する。 ・ 一人一人の課題意識を明確にするために、予想する時間を十分に確保し、全体でしっかりと話し合う。
追究	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に自動車づくりに携わっている人との交流を通して、思いや願いを実際に聞くことで、働いている人にも目を向けさせ、追究の質を高めるようにする。 ・ 追究の時間を十分に保障し、その成果を伝え合う場を設定することで、自分の課題解決に対して納得できるまで子ども同士の情報共有を丁寧に行う。

振り返り（問題解決ステージ2も含む）	<ul style="list-style-type: none"> 学習問題に対する自分の考えをまとめ、それを基に学級全体で話し合うことで、自動車に携わる人々の工夫や努力を理解する。 自動車産業の問題を把握できる資料を提示し、自分の意識のずれを認識するとともに、その解決に向けて、今まで学習したことを基に考えることができるようにする。 社会科日記には、自分の考えの変化を意識して書かせるようにして、これからの自動車づくりについて根拠を持って自分なりの考えを持たせるようにする。
--------------------	--

6 本時の授業（10／11）

- (1) 日時 平成31年2月1日（金）10:30～11:15
- (2) 場所 5年星組教室
- (3) ねらい 社会や消費者の視点から、自動車づくりに携わる人々がどのような工夫や努力をしているのか考える。
- (4) 展開

学習活動	予想される子どもの意識の流れ	指導（○）と評価（●）		
1 本時の課題を確認する。	<p>自動車づくりに携わる人々は、よりよい自動車をたくさんつくるために、どのようなことをしているのだろう。</p>	○ これまでの学習を振り返るとともに、本時の活動への見通しを持たせる。		
2 電気自動車「リーフ」について、消費者の立場から考え、話し合う。	<p>・自動車をつくっている人は、すごいね。 ・電気自動車は、夢の自動車なんだね。よく考えられている。 ・あんなにすごい電気自動車が、あまり売れていないよ。</p> <p>電気自動車はなぜ広まっていないのだろうか。</p> <p>・デザインが受け入れられていないのかな。 ・なんといっても値段が高すぎる。 ・欲しい車が他にもある。 ・環境が大事にされていないのかな。</p> <p>あなたが将来大人になったら、リーフ（電気自動車）を買いますか。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><リーフを買う></p> <ul style="list-style-type: none"> あんなにすごい技術があるのだからほしい。 環境のために、この自動車を広めたいよ。 自動車が好きだから、運転してみたいよ。 多くの人がかかっているリーフはすごいよ。 </td> <td style="width: 50%; border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><リーフを買わない></p> <ul style="list-style-type: none"> 値段が高い。 もっとたくさん乗れる車がほしいよ。 スポーツカーが好きなんだ。 車って必要な、将来分らないよ。 </td> </tr> </table> <p>自動車づくりに携わっている人は、社会や消費者のニーズに応えるためにどのようなことをしているのだろう。</p> <p>・少しでも値段を下げるために、工夫や努力をしていたよ。 ・環境のことを真剣に考えていたね。 ・販売店の人は、車の説明を分かりやすくしていたね。 ・車はいろいろな人がかかわりながら、つくられていた。</p>	<p><リーフを買う></p> <ul style="list-style-type: none"> あんなにすごい技術があるのだからほしい。 環境のために、この自動車を広めたいよ。 自動車が好きだから、運転してみたいよ。 多くの人がかかっているリーフはすごいよ。 	<p><リーフを買わない></p> <ul style="list-style-type: none"> 値段が高い。 もっとたくさん乗れる車がほしいよ。 スポーツカーが好きなんだ。 車って必要な、将来分らないよ。 	○ 電気自動車の販売台数のグラフから、何が問題なのかを話し合うことで、消費者の立場を明確にする。
<p><リーフを買う></p> <ul style="list-style-type: none"> あんなにすごい技術があるのだからほしい。 環境のために、この自動車を広めたいよ。 自動車が好きだから、運転してみたいよ。 多くの人がかかっているリーフはすごいよ。 	<p><リーフを買わない></p> <ul style="list-style-type: none"> 値段が高い。 もっとたくさん乗れる車がほしいよ。 スポーツカーが好きなんだ。 車って必要な、将来分らないよ。 			
3 本時の活動を振り返る。	<p>日本の自動車づくりは、組み立て工場や関連工場働く人々、研究開発に携わる人々、運輸に携わる人々などいろいろな人々の工夫や努力の上に成り立っている。</p>	○ 今までの学習で学んだことが根拠となって発言できるように、それぞれの立場の相違点や共通点がわかるようにする。		
		○ 工夫や努力が社会や消費者のニーズと関連していることに気付かせるために、自動車づくりの資料を改めて提示する。		
		● 社会や消費者の視点から、自動車づくりに携わる人々がどのような工夫や努力をしていることに気付いたか。 〔ノート、社会科日記〕		

7 評価の具体的な方法

〈自己効力感〉が高まっている姿を評価する視点を、資質・能力といった「【力】の高まり」と、学習に対する意欲や積極性といった「【心】の高まり」の二つとして考え、「社会科日記」の記述の変化（進化・深化）や活動時のつぶやき、ノート記述や学習後の成果物などから、資質・能力及び学習に対する意欲や積極性を見取り、〈自己効力感〉の高まりを見取っていく。

(1) 「出会い」の場面における評価の視点

【力】 学習問題を設定する力、学習を見通す力

【心】 社会的事象に対する面白さや不思議さの実感、活動への期待感、わくわく感

【力】 の表れた姿と見取る方法

・自分なりの予想を立て、友達と話し合うことを通して、調べることを明確にし、学習計画を立てている。 (ノート)

【心】 の表れた姿と見取る方法

・自分の生活と自動車工業とのつながりを見いだしている。 (社会科日記)

・これからの追究活動に期待感を持っている。 (社会科日記・わくわく度)

・自動車工業について、資料を基に、予想を立てようとしている。 (ノート・社会科日記)

(2) 「追究」の場面における評価の視点

【力】 資料活用力、思考力・判断力・表現力

【心】 「もの・こと、人」とかかわり合うことのよさや楽しさの実感

【力】 の表れた姿と見取る方法

・自分の調べることについて、資料から必要な情報を読み取ったり、資料を活用してまとめたりしている。 (ノート・様態)

・自動車工業に携わっている人の工夫や努力について、自分なりの考えを持っている。 (ノート)

【心】 の表れた姿と見取る方法

・友達同士で意欲的に情報交換したり、GT の話を聞いたりすることで、友達やGT とかかわる楽しさや相手のよさを感じながら追究している。 (様態・社会科日記)

(3) 「振り返り」の場面における評価の視点

【力】 学びを生かして、社会に参画しようとする姿

【心】 学習への満足感、誰かに教えたい・伝えたい・社会に働き掛けたい・挑戦したい

【力】 表れた姿と見取る方法

・自動車工業の今後の課題を知り、今までの学習の成果を生かし自分なりの考えを持とうとしている。 (様態・ノート・社会科日記)

・これからの日本の工業生産について、これからどうしていくのか選択・判断しようとしている。 (様態)

【心】 の表れた姿と見取る方法

・「自動車工業の秘密をさぐれ」「どうなっていくの？日本の工業生産」の学習への満足度

(社会科日記・社会科がんばり度)